

# 世界自然遺産 白神山地の魅力



留山で最大といわれるブナの巨木を見上げて

青森県と秋田県の県境にまたがる「白神山地」には、東アジア最大の原生的なブナの森林が広がっています。その中心部をなす国有林約1万7千haは、林野庁が指定する森林生態系保護地域であるとともに、ユネスコ世界自然遺産にも登録されています(※)。

白神山地の貴重な森林を後世に引き継いでいくためには、その魅力と価値をより多くの方々と共有することが不可欠です。そのため、東北森林管理局では、白神山地世界遺産地域周辺において様々な普及啓発活動に取り組んでいます。

ここでは、平成26年度、国民の祝日「山の日」制定を記念して初めて試みた、英語によるガイドツアーの取組について紹介します。

※「森林生態系保護地域」とは、国有林のうち、自然環境の保全を第一に管理する「保護林」の一つで、原生的な天然林を保存する地域です。白神山地森林生態系保護地域は平成2年に設定され、平成5年にその全域が世界遺産に登録されました。

## 白神山地の魅力

白神山地は、約12,000〜8,000年前に北日本の山々を覆ったブナ林が面積にわたって残された、数少ない地域の一つです。

日本海側内陸部に特有の多雪環境の中、ブナを主とする森林には、540種以上の植物をはじめ、クマゲラ、イヌワシなどの希少な鳥類、ニホンカモシカ、ツキノワグマなどの大型哺乳類といった、多くの生き物がくらし、互いにつながりあって森林生態系を形づくっています(※)。

また、白神山地では、倒木や地形の変化に伴いブナ林が新しい世代へと更新を繰り返す中で、森林生態系の移り

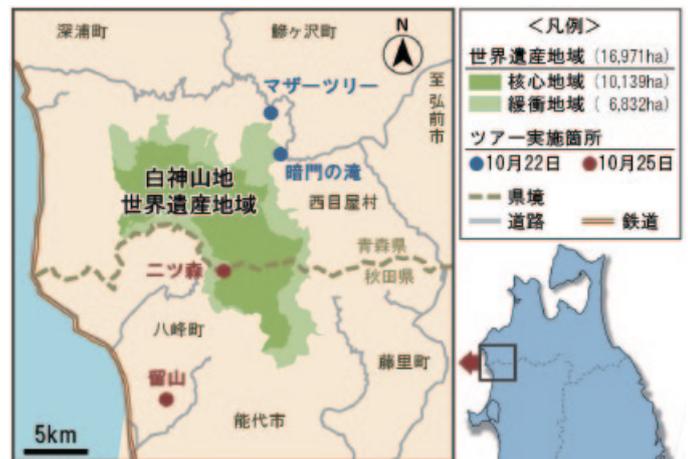
変わりの様々な段階を見ることができ

ます。長い時間をかけて育まれ、変化し続ける豊かな森林生態系こそが、白神山地の魅力であり、世界的にも類まれと認められた価値です。その価値をよりよい形で後世へと引き継いでいくため、当局を含めた関係機関が連携し、白神山地の保全・管理に努めています。

※白神山地世界遺産地域管理計画平成25年10月改定参照。

## 「山の日」制定記念イベント

白神山地の適正な保全・管理にあたっては、関係機関のみならず、地域住民や旅行者など多くの方々和白神山地



白神山地世界遺産地域及びツアー実施箇所位置図

の魅力と価値を共有し、幅広い理解と協力を得ることが必要不可欠です。

そのための普及啓発活動の一環として、白神山地世界遺産地域周辺において、一般公募した参加者を対象に職員等が解説しながら森林を歩くガイドツアー(森林ふれあい推進事業)を毎年開催しています。

平成26年度には、山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝することを目的として、国民の祝日「山の日」(8月11日)が新たに制定されました(平成28年度より施行)。これを記念して、平成26年度は、通常の日本語ガイドに加え、外国人参加者向けに英語ガイドも提供するツアーを開催しました。

## 外国語によるガイドツアーの充実

「山の日」制定記念ガイドツアーは、平成26年10月下旬、ブナの黄葉が美しい季節に合わせて2回開催しました。

1回目は、青森県側で、津軽白神森林生態系保全センターが主催し、白神山地の玄関口にあたる「暗門の滝」(中津軽郡西目屋村)を散策した後、「マザーツリー」とよばれるブナの巨木を見学しました。

2回目は、秋田県側で、藤里森林生態系保全センター及び(一社)秋田白神コミュニケーションセンターが共催し、白神山地世界遺産地域の核心地域を見渡せる「二ツ森」(藤里町)に登った



当局職員による英語ガイドの様子(二ツ森登山口)

後、藩政時代より保護されてきたブナ林「留山」(山本郡八峰町)を散策しました。

英語ガイドを希望する外国人参加者の募集にあたっては、当局のウェブサイトや観光案内所での周知や、地元各市町村や大学への呼びかけを行いました。その結果、日本在住者や旅行者を含め、1回目は2名、2回目は5名の外国人参加者が集まりました。

## ガイドツアーの成果は上々

ガイドツアーは両日とも天候に恵まれ、参加者には鮮やかなブナの黄葉を楽しみながら白神山地の魅力を感じていただきました。また、ガイドを通



二ツ森登山道から核心地域に広がるブナ林を見渡す(黒っぽい部分は雲の影)

じて、白神山地の森林生態系の価値とそれを保全する意義、生き物のくらしや人々との関わりについて、理解を深めていただけました。

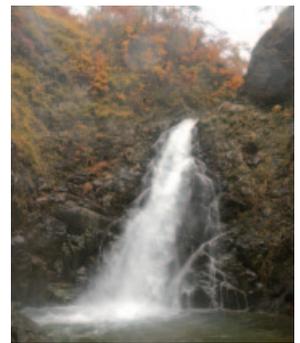
今回の英語ガイドは、当局職員が日本語ガイドを通訳して行いました。ツアー後に実施したアンケートでは、外国人参加者から、「説明が丁寧で知識が豊かだった」、「英語ガイドのおかげで、日本で参加したツアーでの説明を初めて100%理解できた」といった好評が寄せられました。

## 白神山地の魅力は限りない

白神山地が世界自然遺産に登録されてから22年が経過した現在、白神山地世界遺産地域及び周辺地域を訪れる人々の数は減少傾向にあります。

しかし、今後は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を追い風にした観光施策の強化や、「山の日」などをきっかけとした山・森林への関心の高まりにより、白神山地周辺への来訪者の増加が期待されるところです。

当局では、このような機会をとらえ、白神山地の魅力をより多くの人々に向けて発信していくため、今後も継続して積極的な普及啓発活動に取り組んでまいります。



黄葉のブナ林を抜け、暗門川沿いを上流に向かって歩くと、滝が現れる(写真左から右へ、滝は「暗門第三の滝」)

白神山地に関する  
情報サイトの紹介

基礎情報や見どころ [白神NetWalker](http://www.shirakami.go.jp/index.html)  
<http://www.shirakami.go.jp/index.html>

イベント開催予定 [東北森林管理局ウェブサイト「イベント情報」](http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/event/index.html)  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/event/index.html>